

2005年12月8日

各位

会 社 名 株式会社ドン・キホーテ  
コ ー ド 番 号 7532 東京証券取引所市場第一部  
お 問 い 合 わ せ 先 取締役経営支援本部長 稲村 角雄

### 『ハーフパイプ』開業延期のお知らせ

ドン・キホーテ六本木店屋上に建設した遊戯施設『ハーフパイプ』に関して、弊社の考えと今後の方針をお知らせいたします。

ご承知のように、弊社は常にエンターテイメント性あふれる時間消費型の小売業態を追求し、お客様の強い支持をいただいております。

『ハーフパイプ』もその延長線上に位置づけられる、全く新しい魅力にあふれた付帯施設であり、設計、施工、運営は世界的に有名な遊戯メーカーであるスイス・インタミン社およびインタミン・ジャパン社によるものです。すなわち弊社は、そのスペースを提供するという立場になるわけですが、そもそも同プロジェクトを推進してきた狙いと目的は以下の2点に集約されます。

- ・ 健全かつ安全にスリルを楽しめる、他にないユニークなアミューズメント機能を提供してお客様に喜んでいただきたい
- ・ わが国有数のエンターテイメントタウンである六本木のさらなる賑わいと活性化、街全体の話題性や付加価値向上に寄与したい

しかしこうした弊社の思いは、あらぬ誤解、曲解を含め、諸団体・組合の一部の方々の反対運動によって、いたずらにないがしろにされているというのが現状であり、残念でなりません。

もちろん本施設の設置・稼動については、法令上必要な手続きを粛々と進めております。また周辺住民の皆様に対しても11月9日に説明会を開催し、11月24日には港区役所において担当職員様立会いのもと徹底した安全・防音対策等に関する説明会を催し、一定のご理解を得たものと確信しております。

ちなみに本施設で最も心配の声が大きかった騒音に関して言えば、騒音専門コンサルタント会社と弊社社員による再三再四の実験も通し、それが全くの杞憂にすぎないことが実証されています。また地上30～50メートルで発生する人間の声が、騒音として周囲に響き渡ることなどもとよりあり得ません。

一方、既述の諸団体・組合の一部の方々は、弊社側からの説明、すなわち万全を尽くした安全・防音対策等に関してはいっさい耳を貸さず、一方的に『ハーフパイプ』の存在が、地域社会にとっていかに治安悪化につながり、青少年育成への悪影響を及ぼすか等、何の根拠も裏づけもない感情論を繰り広げておられます。

いずれにしましても、このような見当違いの反対運動に、弊社はほとんど辟易しております。前述したように、今回は弊社が本施設の設置場所を提供したにすぎません。にもかかわらず、仮にそうした付帯施設の是非に関する議論が、結果として本業である小売業(店舗)のイメージを損なうようなことに繋がってはまさしく本末転倒、由々しき事態と言わざるを得ません。

逆に本業であれば、理が我が方にある限り、決して屈しないことが弊社の基本方針であり通常の姿です。しかし直接本業と関係のない今回の件に関して、これ以上非生産的エネルギーを費やすのは、企業経営上からも株主利益の面からも好ましくないと判断しました。

従って、反対運動等に屈するつもりはいささかもありませんが、『ハーフパイプ』は運営中止・施設の撤去も視野に入れ、当初予定しておりました12月21日(水)の開業を自主的に延期することといたします。

皆様に喜んでいただくよう進めたプロジェクトが、思いもよらぬ(弊社から見てきわめて不毛な)議論を巻き起こし、結果的に大変残念な結末を迎えざるを得ない可能性があること、ただただ遺憾の念に堪えません。何よりも、多くのお客様に期待していただきながらそれにお応えすることが叶わなくなる可能性があること、伏してお詫び申し上げる次第であります。

< 本件に関する問い合わせ先 >

株式会社ドン・キホーテ 取締役経営支援本部長 稲村 角雄

【電話】03 - 5381 - 7592 (窓口：広報課)

以上